

「高千穂郷」通信

祝 九州中央自動車道 高千穂日之影道路 日之影深角 I C ~ 平底交差点 開通



※撮影時のみマスクを外しています。



8月21日(土)に九州中央自動車道高千穂日之影道路「日之影深角 I C ~ 平底交差点」間(延長 2.3km)の開通式が行われました。

本県と熊本県を結ぶ九州中央自動車道は、九州の東西軸として、九州全体の産業・観光振興などに資するとともに、大規模災害時には、人命救助や救援物資の輸送等を担う「命の道」として極めて重要な道路です。

今回の開通により、平成30年に開通した「雲海橋交差点~日之影深角 I C」間と合わせて、延長5.1kmが連続して通行可能となり、県北地域の暮らしや経済、医療環境の進展に大きく寄与するものとして期待が寄せられています。

開通



河川愛護月間、道路ふれあい月間、橋の日に合わせて美化活動を実施

7月は「河川愛護月間」、8月は「道路ふれあい月間」、そして8月4日は「橋の日」記念日であることから、8月4日（水）に西臼杵地区の主な河川、道路及び橋の美化活動を行いました。

西臼杵地区の行政機関や関係団体など、約400名の方がゴミ拾いなどの活動に参加されました。暑い中、一生懸命作業していただいたおかげで、河川や道路、橋がきれいになりました。

今回の活動を通して、河川、道路、橋の役割や重要性が再確認され、より一層大切にする「愛護の心」が広がっていただければ幸いです。



橋の日の活動について

8月4日は「橋の日」です。「橋の日」は、昭和60年に延岡市出身の湯浅利彦氏が提唱した宮崎発祥の記念日です。

今年の「橋の日」も各地で取組が行われており、西臼杵地区においても、高千穂町“神都高千穂大橋”で、高千穂地区建設業協会青年部16名によって橋の欄干や歩道部の清掃が行われ、“水ヶ崎大橋”では、近所に住む35名によって橋の清掃が行われました。この水ヶ崎大橋での取組は、橋が架設されて以来続いている毎年恒例の地区行事です。早朝、雨の降る中の作業でしたが、皆さんの気持ちが通じたのか、終わる頃には清々しい青空になっていました。

また、日之影町“道の駅青雲橋”では、のぼりを設置するなど、「橋の日」記念日を盛り上げていただきました。



令和3年度西臼杵地域体系的農家研修「スマート農業のすすめ」を開催しました



リモコン式草刈機



ドローンの説明



自動給水栓



ドローンによる模擬防除

8月5日（木）、高千穂町下野西集落にて、西臼杵地域体系的農家研修「スマート農業のすすめ」を開催しました。研修には生産者や関係機関等約40名が参加し、水田管理の省力化につながる法面での「リモコン式草刈機」や「ドローン」による模擬防除、スマートフォンで操作できる「自動給水栓」の実演の他、「牛の分娩監視通報システム」等の紹介を行いました。参加者のなかには「ドローン」や「牛の分娩監視通報システム」の導入を検討している方もおり、スマート農業技術への高い関心が伺われました。

今後も土壌の基礎や経営管理等の研修を計画していますので、ぜひ御参加ください。

【お問い合わせ先】
西臼杵農業改良普及センター
電話 0982-72-2158

天岩戸土地改良区及び上野地区土地改良区合併予備契約書調印式



天岩戸土地改良区のみなさん



上野地区土地改良区のみなさん



高千穂町岩戸地区の4つの土地改良区が「天岩戸土地改良区」として、上野地区の5つの土地改良区と3つの農業水利組合が「上野地区土地改良区」として、それぞれ合併することに合意し、7月28日（水）、合併予備契約書の調印式が合同で開催されました。

調印式では、これまでの経過報告や予備契約書の内容説明が行われ、それぞれの予備契約書に代表者が調印し、最後に立会人として高千穂町長が調印を行いました。

今後、正式に合併することにより、組織運営基盤の強化が図られるとともに、用水路の維持管理等の役割を効率的に果たしていくことが期待されます。

「山附溪谷ホテルの里」に河川功労者表彰



山附溪谷ホテルの里のみなさん



▲ 表彰状を受け取る 富高 徹様

令和3年河川功労者表彰を受けた「山附溪谷ホテルの里」に、8月3日（火）、表彰状の授与を行いました。

「山附溪谷ホテルの里」は、高千穂町を流れる山附川の清掃活動をはじめとする河川愛護活動や、ホテルまつり等の地域振興活動のほか、県が実施している水辺のモニターの活動として、12年間にわたる河川環境の調査実施や、小学生を対象とする河川学習の場の提供など、次世代への自然豊かな河川環境保全の継承に向けた積極的な活動が評価され、今回表彰されることとなりました。

今後も、山附溪谷ホテルの里をはじめ、地元住民のみなさまと協力しながら、山附川がよりよい河川環境をつくり、そして次の世代まで維持し続けるよう取り組んでいきたいと考えます。

東京2020パラリンピック

聖火フェスティバルの「火」を太陽光で起こしました

県内各地の特別支援学校や県立高校で太陽光を使った火起こし式が行われました。高千穂高校で行われた火起こし式では、延岡しろやま支援学校生6名と高千穂高校生2名が、虫眼鏡等で太陽光を集め、全員で協力して火を起こしました。

このように県内各地で起こした火は、8月12日（木）に宮崎市で行われた東京2020パラリンピック聖火フェスティバルでトーチに点火された後、東京都で開かれた「集火式」で一つになり、8月24日（火）の東京2020パラリンピック開会式で聖火台に無事点火されました。





日之影町 ホオズキ市 開催！

8月7日(土)、日之影町道の駅「青雲橋」にて、ホオズキ市が開催されました。ホオズキ市は、日之影町花き園芸振興会の主催で毎年開催しており、昨年は新型コロナウイルス感染症の拡大により中止となったため、2年ぶりの開催となりました。

当日は、開店前から列ができるほどの大盛況で、お盆の縁起物のホオズキ1,165本が飛びように売れました。



五ヶ瀬町の 中学生が 農業体験学習

7月28日(水)、高鍋農業高校で農業体験学習が行われ、五ヶ瀬中学校から16人が参加しました。これは、五ヶ瀬町の基幹産業である農業の魅力を実感し、次世代の人材育成につなげるため町教委が主催したものです。

生徒たちは、食品科学科で食パン製造、園芸科学科でラジコン・乗車草刈り機操作を体験し、畜産科学科では新設された牛舎の見学を行いました。

初めてのことに最初は戸惑っていた生徒も、高校生から指導を受けながら、一生懸命に取り組んでいました。



NISHIUSUKI TOPICS

第12回全国和牛能力共進会宮崎県出品 対策共進会へ向けた地域予選会の開催

7月30日(金)、JA高千穂地区家畜市場にて、10月に児湯地域家畜市場で行われる「第12回全国和牛能力共進会宮崎県出品対策共進会(プレ全共)」の地域予選会が実施されました。

予選会では、第1区(繁殖雌牛群、2産以上)において1セット3頭、第2区(高等登録群、母牛と娘牛のセット)において1セット2頭、第3区(若雌14ヵ月齢以上、24ヵ月齢未満)において3頭、第4区(若雌14ヵ月齢以上、20ヵ月齢未満)において2頭、計10頭が西臼杵地域の代表牛として決定しました。

全体的に体積が良好で、体の深さ、幅、発育も良い、レベルの高い予選会となりました。



夏の甲子園宮崎県大会及びR3インターハイ

○ 2年ぶり開催 高校野球

2年ぶりとなった夏の甲子園宮崎県大会が7月10日(土)から開催されました。

高千穂高校は、初日第1試合目で小林秀峰高校と対戦し、はつらつとした最後まであきらめない高千穂野球を見せてくれました。惜しくも2対4で敗れましたが、現メンバーでの最後の夏を全力でプレーできたと思います。高千穂高校球児のみなさんは、これまでの練習で培った努力する姿勢や粘り強さを次のステージでも大いに発揮し、大きく羽ばたいてください。

○ インターハイ出場

剣道部と相撲部が全国高校総合体育大会(インターハイ)に出場しました。

全国の舞台は緊張したと思いますが、両部共にこれまでの練習の成果を十分発揮し、精一杯頑張ってくれました。結果は、剣道団体男子が全国ベスト8に進出するなど、高千穂高校の意地を見せてくれました。選手のみなさんは、次のステージでも更に飛躍して欲しいと思います。



【お問い合わせ先】高千穂高等学校 電話0982-72-3111

